



発行

令和4年3月31日

相模原市文化財調査・普及員
広報グループ

文化庁指定
文化財愛護
シンボルマーク

両手のひらと日本
建築伝統の組物を
イメージしたもの

～「さねさし」とは、相模の枕詞です～

みませ はんばら 三増峠の戦いと半原小「懐かしの学び舎」

令和3年7月14日、NHK BSプレミアムで「戦国時代最大の山岳戦、三増峠の戦い」が放映されました。

この戦いは、永禄12年（1569）10月8日、愛甲郡愛川町三増と相模原市緑区根小屋を結ぶ三増峠付近で、小田原北条氏と甲斐の武田信玄の両軍勢、合わせて約5万もの大軍が激戦を交え、武田勢が勝利を収めた戦いです。

この番組では、「半原」や「志田峠」「津久井城」など、いまに残る地名が次々と出てきて、身近な場所で激しい戦いが繰り広げられたことを知ることができました。

また、令和3年10月16日付朝日新聞には、愛川町立半原小学校に残る木造平屋建ての旧校舎に、昭和の雰囲気再現した教室「懐かしの学び舎」が開設され、一般にも事前予約制で見学できることが紹介されました。

西部班の活動は、コロナ禍の影響により暫く休止の状態となっていました。ようやく落ち着きを取り戻しつつある状況となったことから、今回、この三増古戦場と半原小学校の旧校舎を訪ねることになりました。相模川の高田橋を渡るとすぐに右手に見えてくる小沢城址を車窓から眺め、激戦の跡に建つ「三増合戦場」の石碑では、碑文を読み合い、戦いの激しさをあらためて感じました。

次いで、いまでは東名厚木カントリークラブの中にも含まれる小高い山の上に武田勢が大将旗を松の木に掲げたといわれる「旗立松」まで登り、見晴らしのよさに、この地に旗を立てた慧眼に、皆、驚きの声。

半原小学校の「懐かしの学び舎」では、「八丁式撚糸機」という、撚糸で栄えた半原の地を支えた木製の機械や、脱穀機など古い農機具などが展示され、暫しタイムスリップした気分。

志田峠の近くにある相模原市緑区長竹の志田山朝日寺（清正光）にも立ち寄り、森閑とした境内の苔むした長い石段をフーフーいいながら昇って参拝しました。

晩秋の半日、史跡や学び舎、古刹を訪ねて、コロナ禍を吹き飛ばすかのような力を得たようでした。

（西部班 永山）



三増合戦場跡にて



半原小学校「懐かしの学び舎」内部

麻溝台および相模台の開発史

1. 江戸時代→明治時代

相模野は、馬の飼料や田畑の肥料にする草「秣（まぐさ）」の草刈り場である「秣場（まぐさば）」として利用されていました。その中で、相模野の東側の村々を中心に新田開発が実施されました。明治10年代になると、相模野の西側の村でも篠原新開、中和田（蓼川）新開、下溝新開に人が住み、耕地を開発し始めました。麻溝村の人々も弁当と飲料水持参で相模野の台地に徒歩で登ってきて、桑畑等の畑地、約120町歩を耕作し、山林約80町歩を管理していました。



左：蓼川新開開発百年記念碑

昭和51年4月15日建立

右：中和田新開開墾碑

大正8年3月15日建立

開発者

綾瀬村蓼川（たでかわ）
平出富太郎・鈴木孫七ら

設置場所

小田急相模原駅 南口

2. 昭和11年から終戦まで

陸軍士官学校が昭和12年に座間・新磯村に転入し、相模原に陸軍の関連施設が移転、設置されました。その結果、下溝新開や麻溝村の人々が開発した場所が陸軍練兵場として買収されます。篠原新開も電信第一連隊の敷地として買収されました。

農地を失った村民を抱えた麻溝村は、直ちに失業対策委員会を立ち上げ、村一丸となって、新たな開墾を実施しました。令和3年に相模原ギオンアリーナ（相模原市立総合体育館）敷地に移設された開墾記念碑に、このいきさつが詳しく書かれています（開墾碑の記事がさねさし42号P2～3に掲載）。

3. 戦後は米軍基地の町へ

陸軍の軍都として相模原の町は発展するはずでしたが、昭和20年8月の終戦により、大きく変わり

ました。地域内にあった旧陸軍の施設は、一部が国立病院などの医療施設や開拓農地になっただけで、多くは米軍に接収されました。

- ・陸軍士官学校→米軍キャンプ座間、陸軍練兵場→開拓農地、銃射撃場
- ・臨時東京第三病院→国立相模原病院、
- ・電信第一連隊→米軍相模原住宅

昭和20年8月の終戦により、旧陸軍練兵場が解放されました。時あたかも食糧不足の折から、神奈川県では、外地からの引き揚げ者や元軍人等を中心にグループによる開拓が進められていました。麻溝台周辺では、麻溝台開拓農業協同組合（神奈川県から選出された満州開拓団の引揚者と津久井郡青根村・青野原村の有志47戸）、溝上開拓農業協同組合（地元麻溝村の人々25戸）、双葉開拓農業協同組合（28戸）、一青会開拓農業協同組合（11戸）、振興青年開拓農業協同組合（10戸）、豊原開拓農業協同組合（19戸）が開拓にあたりました。



左：麻溝台開拓碑

昭和55年3月15日建立

設置場所

麻溝台自治会館広場

右：溝上開拓記念碑

平成9年10月建立

設置場所

麻溝台7丁目27

4. 開拓協同組合の解散

都市化が進む中、さまざまな雇用機会にも恵まれるようになり、離農する組合員もどんどん増えてきました。このような背景のもと、昭和37（1962）年に溝上開拓農業協同組合がいち早く解散し、一青会、振興青年開拓協同組合、双葉開拓農業協同組合、豊原開拓農業協同組合が次々と解散し、平成11（1999）年6月には麻溝台開拓農業協同組合も解散しました。

（南部班 樽林）

今年度の考古班活動を振り返って

今年度の活動を振り返ると、8月、9月はコロナ緊急事態宣言が継続したため中止。1月中旬から2月にかけてはコロナまん延防止での中止などありましたが、6月は博物館学芸員の講義受講、6月2回目の活動は緑区澤井^{おびのつばら}の大日野原遺跡で出土した縄文土器などの遺物洗浄実習。7月、10月、12月も講義受講と遺物洗浄の月2回の活動。11月は県立津久井湖城山公園にある津久井城跡の発掘調査現場の見学と発掘体験。1月は毎月洗浄している土器・石器が出土した大日野原遺跡の現地見学をしました。

土器、石器など遺物の取扱いや管理・保存は、学芸員の研修を受け、体験するのが大変勉強になります。発掘されて土が付いたままの遺物に触れて、洗浄する様なことは、そのような場と機会がないとなかなか出来ない事です。相模原市の文化財である遺物の洗浄をお手伝いしながら、土器、石器に触れることが出来るのは、ある意味大変恵まれていると思います。土を洗い落として見えてくる土器の文様、形状などじっくりと観察すると楽しさも倍増します。今後も出来る限り月1回実施する予定です。

津久井城跡の発掘現場見学と体験は、参加者は少なかったのですが齊藤学芸員から指導を受けて実施しました。この調査は津久井城市民調査グループによるもので、メンバーになると月1回の研修、実習、遺跡見学などがあります。そして11月～12月にかけて津久井城跡での現地調査が行われます。今年は6号^{くるわ}曲輪の発掘調査が実施されました。例年で

すと津久井湖城山公園収穫感謝祭の時に見学説明会があるのですが、今年度は行われませんでした。この市民協働調査は10年経過していることもあり、年齢的にも体力的にも少しでも若いメンバーが参加されるのを切望しています。

大日野原遺跡見学は中川学芸員の案内で巡回しました。澤井の山中にある大日野原の広さと日当たりの良さと地形を見て、縄文時代に住みやすい所だったのだろうと実感しました。そしてまだ何かがたくさん眠っていそうな気がしました。

私たちが活動している考古班は、相模原市教育委員会に所属する文化財調査・普及員グループの分野別班のひとつです。文化財調査・普及員になることで、参加できます。

考古班を好古班と読み替えると、時代が幅広くなり内容的にも易しく、楽しめるのかもしれませんが。いずれにしても難しい学問的知識は別として、考古的なものに興味があって、この班にはいられる方がほとんどだと思います。考古の知識と経験のある学芸員の方から、研修を受けながら実際の作業もお手伝いして、考古資料を見て理解できるようになり、少しでも身に着けられればと思います。机上だけでなく実際に経験すると、興味が深まって、楽しみも増すのではと思います。考古資料の文化財に興味を持っている方、参加したいと思う方は文化財保護課、または考古班まで連絡いただければと思います。

(考古班 土屋)



出土した土器の洗浄作業



大日野原遺跡の現地見学

相模原市 文化財調査・普及員の募集

募集期間 6月中旬～8月中旬（予定）

文化財調査・普及員は市民と行政のパートナーシップによる文化財の保存と活用を図るために発足したボランティアです。

地域班に所属し、分野別班や実行委員などで同じ興味を持った仲間たちと活動することができます。

活動内容

- ・各地域班での文化財パトロール等 月1回程度の定例活動
〔以下、有志での活動の一例〕
- ・分野別班での活動
 - ・考古班や地名・古道班での調査、研究など
- ・教育委員会主催の文化財普及事業にスタッフとして参加
 - ・史跡田名向原遺跡公園での解説案内
 - ・史跡勝坂遺跡公園での体験学習
 - ・古民家園で実施される保存事業や講演会 など
- ・津久井城跡市民協働調査に市民調査員として参加
講習会・視察研修、発掘調査、公開事業など

対象

- (1) 郷土の歴史や自然に興味があり、ボランティア活動に取り組む意欲のある方
- (2) 教育委員会が主催する講習会に参加できる方

登録までの流れ

8月下旬から10月下旬に実施する全8回程度の講習会を受講後、参加意欲のある方を登録します。

※講習会は土・日のいずれかに開催します。

※新型コロナウイルス感染症の状況等により、内容を変更する場合があります。

申込方法

広報さがみはら6月15日号のほか、市HP、文化財保護課Instagramをご確認ください。



活動の一例



史跡公園等での解説案内



イベント運営など



津久井城跡市民協働調査への参加

問い合わせ・申込先
相模原市教育委員会 文化財保護課

〒252-5277
相模原市中央区中央2-11-15
電話：042-769-8371
fax：042-758-9036
Eメール：bunkazai@city.sagamihara.kanagawa.jp